

薩摩硫黄島の火山活動 -2011年10月～2012年1月-*

Volcanic Activity of Satsuma-Iojima Volcano - October 2011 to January 2012-

福岡管区気象台 火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台
Volcanic Observations and Information Center,
Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA
Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

・噴煙など表面現象の活動（第1図、第4図、第5図、第7図、第8図）

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上100～200mで経過した。同火口では2011年10月3日、2012年2月18～19日の夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を観測した。

2011年11月26日に実施した赤外熱映像装置による観測では、前回（2008年4月）と比較して、地表面温度分布に特段の変化は認められなかった。

2011年12月19日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの調査では、前回（2010年12月）と比べて、噴煙活動の状況に特段の変化はなかった。赤外熱映像装置による観測では、地表面温度分布に特段の変化はなかった。また、周辺の海岸付近では、火山活動に伴うと考えられる海水の変色が引き続き確認された。

三島村役場硫黄島出張所によると集落（硫黄岳の西南西約3km）への降灰は確認されなかった。

・地震、微動活動（第1図）

火山性地震は少ない状態で経過した。

振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が時々発生した。

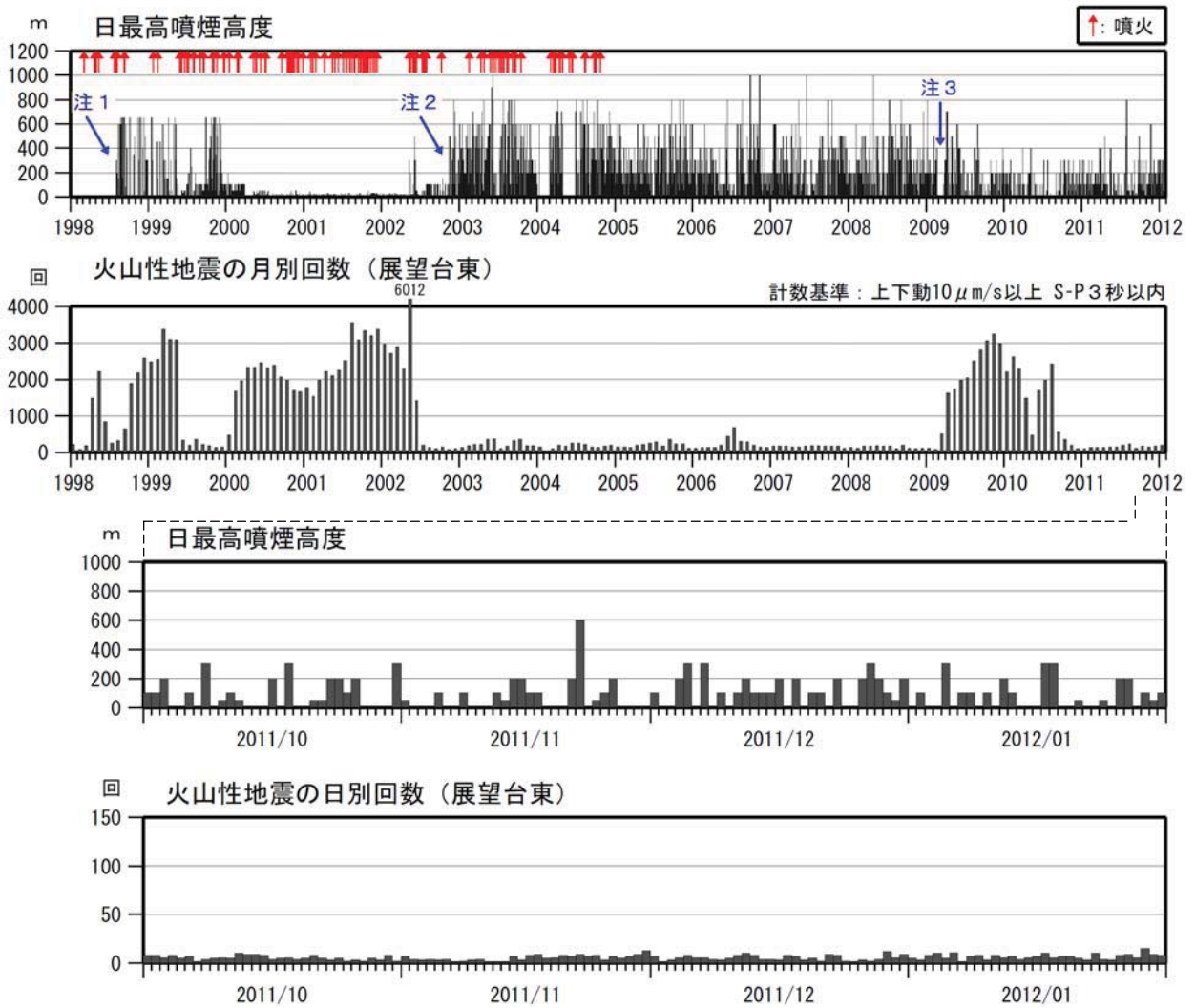
・地殻変動の状況（第1図）

GPSによる地殻変動観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められなかった。

・火山ガスの状況（第2図）

2011年11月26日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり800トンとやや多い状態であった。

* 2012年3月29日受付



第1図 薩摩硫黄島 火山活動経過図 (1998年1月～2012年1月31日)
 Fig.1 Volcanic activity of Satsuma-Iojima Volcano (January, 1998 – January 31, 2012).

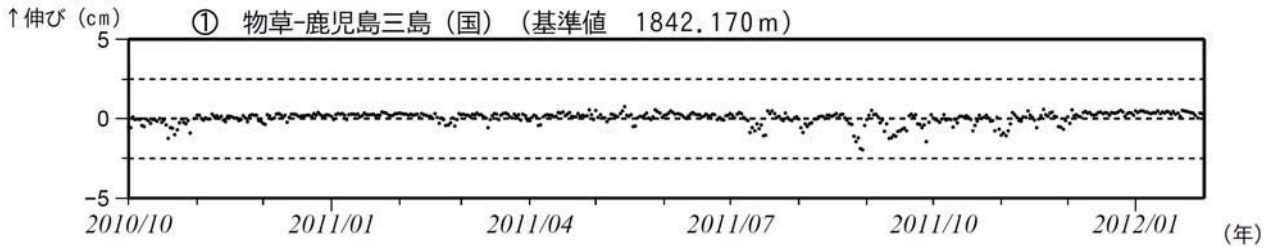
<2010年10月～2012年1月の状況>

- ・硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上概ね100m以下(最高高度は600m)で経過した。
- ・硫黄岳山頂火口では、2011年10月3日、2012年2月18～19日の夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を観測した。
- ・火山性地震は少ない状態で経過した。

注1 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。

注2 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。

注3 遠望カメラ障害のため噴煙は不明。

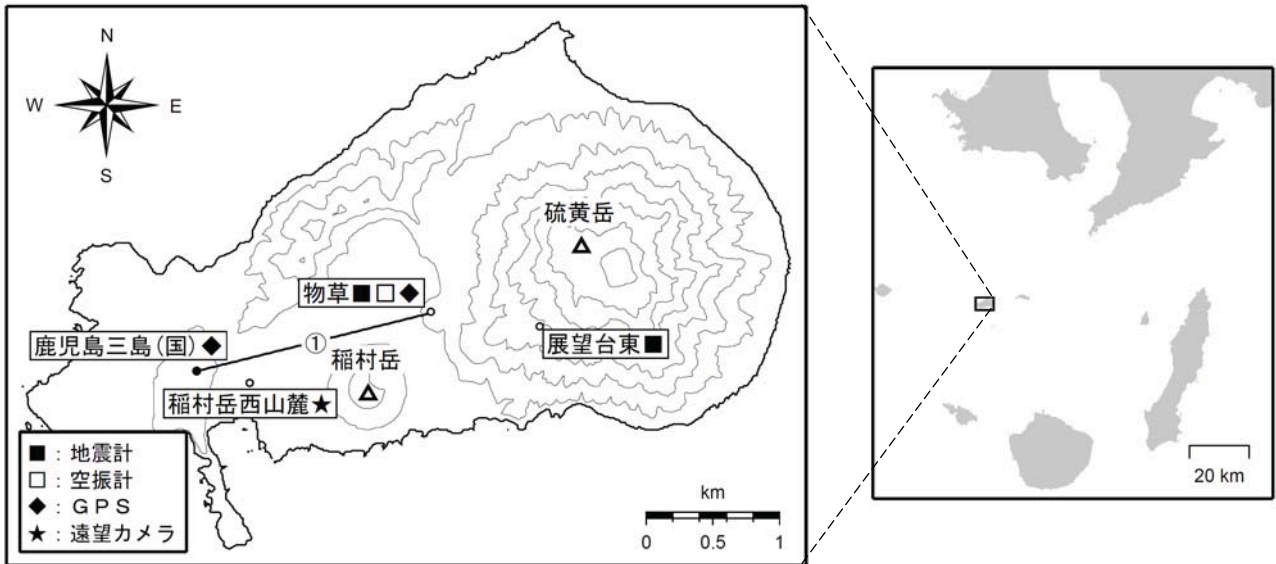


第2図※ GPS連続観測による基線長変化(2007年1月～2012年1月31日)
(国): 国土地理院

Fig.2※ Results of continuous GPS observations at Satsuma-Iojima (January 1, 2007 - January 31, 2012)

<2010年10月～2012年1月の状況>
火山活動に伴う特段の変化は認められなかった。

この基線は第3図の①に対応している。



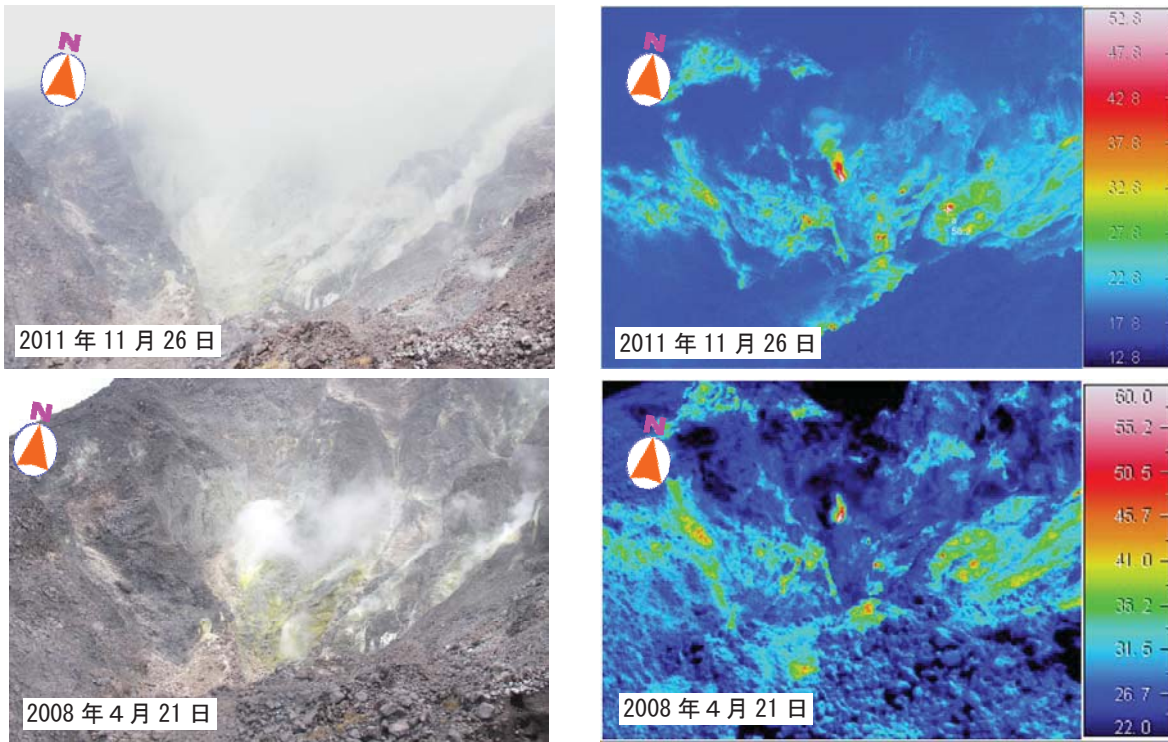
第3図 薩摩硫黄島 観測点配置図

Fig.3 Location map of permanent observation sites of JMA around Satsuma-Iojima volcano.

この地図は、国土地理院発行の『数値地図10mメッシュ(火山標高)』を使用したものである。

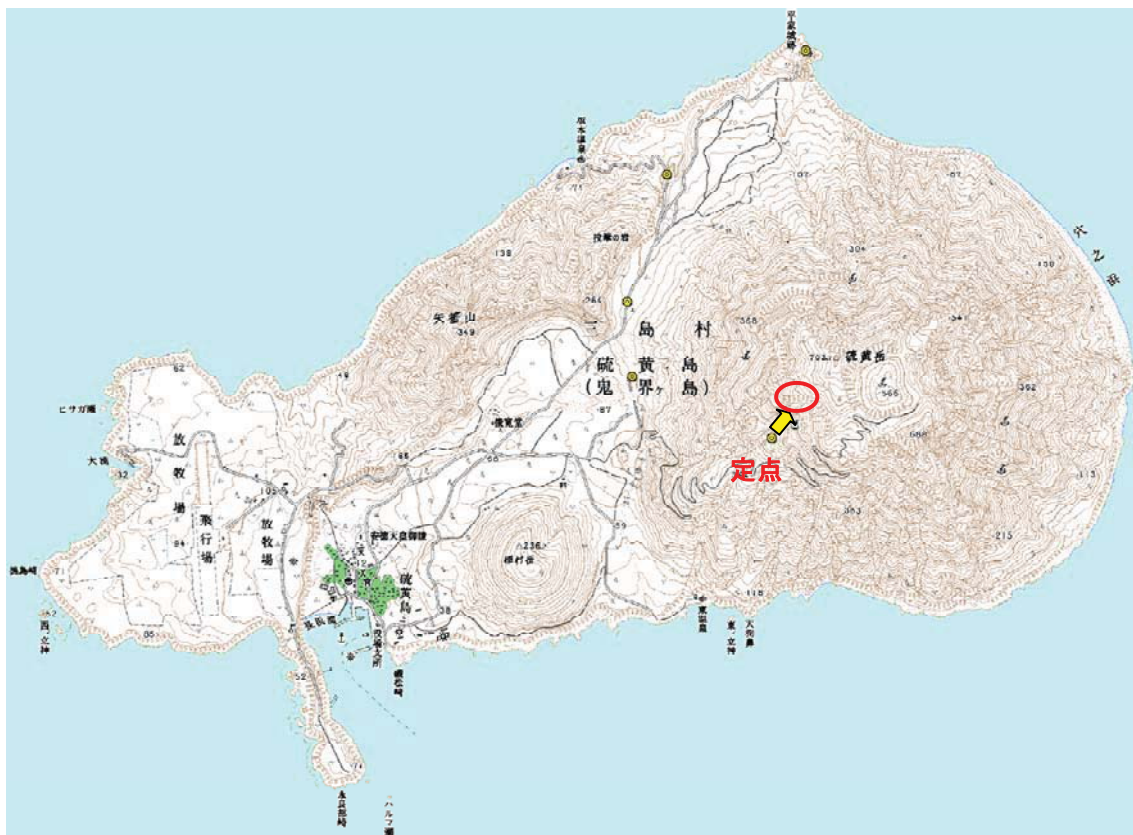


第4図 薩摩硫黄島 噴煙の状況(2011年11月22日、稲村岳西山麓遠望カメラによる)
Fig.4 The situation of the smoke(November 22, 2012).



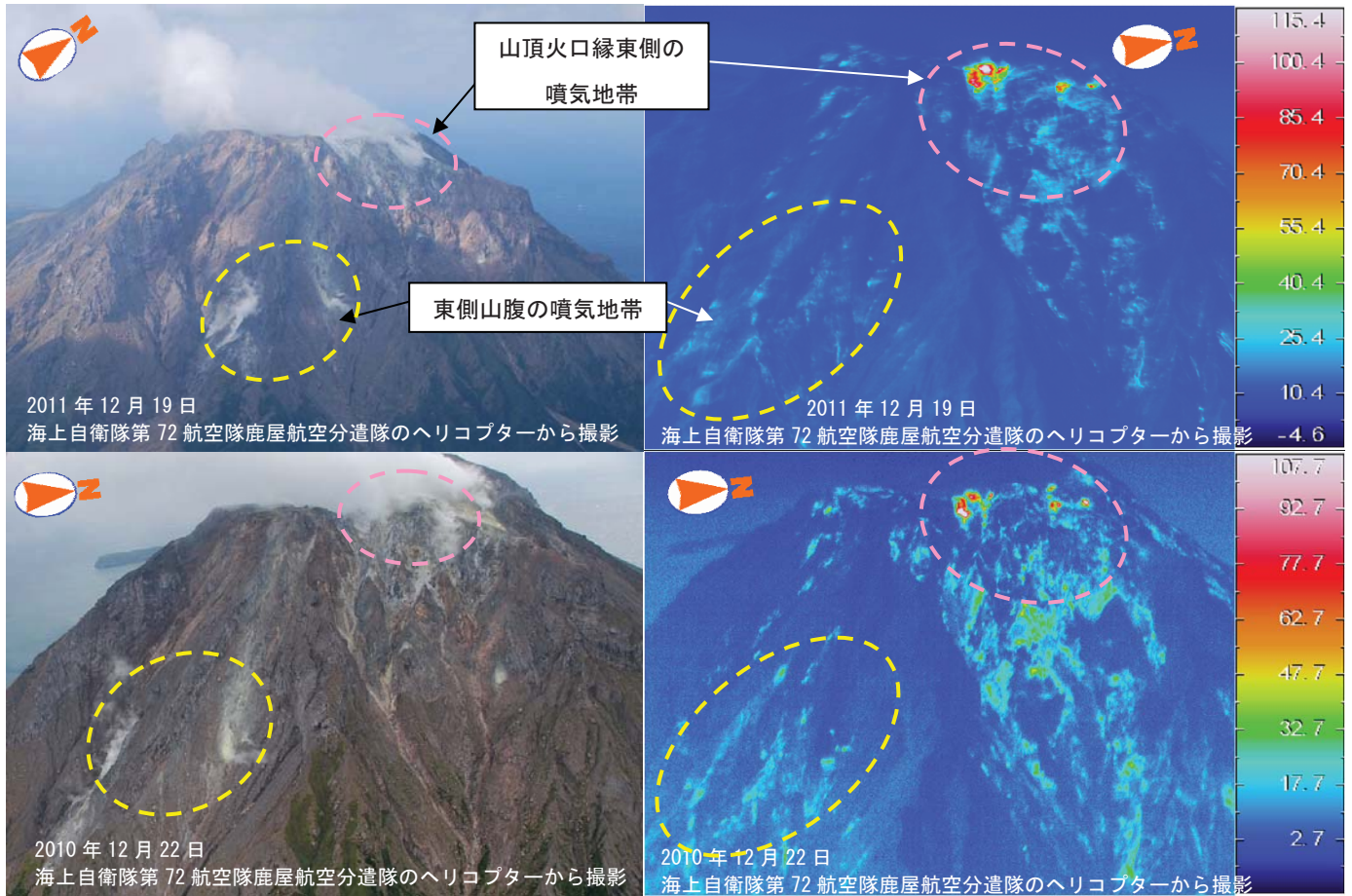
第5図 薩摩硫黄島 赤外熱映像装置による硫黄岳の地表面温度分布（第6図の定点から撮影）
 Fig.5 Visual and thermal images of Iodake. (The images were taken from Obs. Point in Fig.6.)

前回（2008年4月）と比較して、地表面温度分布に特段の変化は認められなかった。
 赤外熱映像の温度表示は熱異常域ではない領域の平均温度で調整して表示。



第6図 薩摩硫黄島 赤外熱映像及び写真の撮影方向
 Fig.6 Location and angle of the images.

この地図の作成には、国土地理院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を使用した。



第7図 薩摩硫黄島 赤外熱映像装置による硫黄岳の地表面温度分布
Fig.7 Visual and thermal images of Iodake.

- ・噴煙活動の状況に特段の変化はなかった。
- ・地表面温度分布に特段の変化はなかった。

赤外熱映像の温度表示は熱異常域ではない領域の平均温度で調整して表示。



第8図 薩摩硫黄島 東側海岸の変色水
Fig.8 Discolored seawater along the east coast of Satsuma-Iojima.
この領域では従前から変色水が観測されている。